

☆体験授業の概要☆

①歴史学 『よみがえる江戸時代の宮崎—江戸時代の町と村—』 【教授 大賀 郁夫】

現代に生きる私たちが、過去のことを知り、過去を復元するためには、「歴史史料」が不可欠です。「歴史史料」は、まさしく過去からのメッセージです。この「歴史史料」を用いて、江戸時代の宮崎がどのような支配のもとに置かれ、またどのような様相であったのかを復元してみましょう。

②異文化間コミュニケーション 『An introduction to intercultural communication』

【助教 Ducker Nathan】

Please join this class if you are interested in communicating with other cultures and / or interested in understanding Japanese culture better. To understand what intercultural communication is and to understand why it is useful to study intercultural communication we will look at some fun examples of intercultural communication. While looking at these situations we will think about how we feel in different intercultural communication situations

③自然災害と防災・減災 『南海トラフ地震のとき、あなたはどうしますか?』 【教授 辻 利則】

宮崎県は、年間を通して温暖な気候に恵まれていますが、地理的・自然的条件等から風水害や土砂災害、地震災害、火山災害等の自然災害の影響を受けやすく、土砂災害も毎年数多く発生しています。

そして、現在、東日本大震災級の南海トラフ巨大地震の発生が警戒され、その被害想定で宮崎県は九州で最も大きな被害が想定されています。被害を最小限に抑えるためには、ソフト・ハードの両面から防災・減災対策を行う必要があり、個人、地域の防災力強化の取り組みは重要です。

本学では、平成26年度から防災士の資格取得ができる講義を初めました。災害時のみだけでなく、普段からの対策が必要であることを理解し、一人の学生として、一人の住民として、そして将来の一人の社会人として、自ら学び、考え、行動できる力をつけることをねらいとしています。

今回は、その講義の内容の一部、体験してもらいます。

④広告文化論 『スポーツ大会における企業とメディアの役割』 【准教授 森津 千尋】

今年は、2月に冬季オリンピック、また6・7月にはサッカーワールドカップが開催され、多くの人々が、日本代表を応援し世界トップクラスの競技（プレイ）に感動しました。

現在、このような国際的なスポーツ大会は、スポーツを楽しむ場としてだけでなく、企業の広報活動やメディアビジネスの場にもなっています。みなさんも、競技場や記者会見場で、何度も映し出される企業ロゴを目にしたことでしょうか。

この授業では、国際的なスポーツ大会をビジネスの側面から考え、その構造と問題点について考えていきます。

⑤国際関係論 『アキラ先輩、日本が没落するって、マジっすか?』 【教授 田中 宏明】

かつて日本は、「世界一」とたたえられたこともありました。たとえば、経済大国の名にふさわしく、ソニーやパナソニックなどの「日の丸家電」が世界を席巻しました。ところが、今やサムスンやLGに押され、その影が薄くなっています。さらに、日本の少子高齢化が進み、人口に占める高齢者の割合は4分の1を超えており、高齢化率では「世界一」になっています。誰もが日本はこれで大丈夫かなと思うことでしょうか。

どうしてこうなったのか、またどうすればよいのかを世界を視野に考えてみましょう。

⑥経済政策 『環境問題について考えよう!』 【准教授 久保 和華】

今回は経済学の中でも環境の問題をピックアップします。

皆さんは、「地球温暖化」という地球規模の環境問題の話聞いたことはあると思います。

この問題を解決する方法はあるのでしょうか。政府や企業や消費者はどのような取り組みをしているのでしょうか。その取り組みを地域活性化に結びつけることはできるのでしょうか。皆さんと一緒に考えましょう。